

○皇學館大学 教員の心得

皇學館大学の教員は、神道を精神的基盤とした本学の学問・教育の伝統を継承し、これを発展させるとともに、次代に伝える崇高な使命をもっています。この使命の遂行にあたっては、本学教員としての誇りと感謝の念をもち、誠実な態度で教育研究活動を展開すると共に、すべての人々に敬意を払い、全学一体となって職責を果たすことが求められます。このため、以下のような心得を共有することを確認します。

1. 本学構成員として

- (1) 本学の建学の精神及び教育方針を尊重し、その実現に貢献します。
- (2) 他の構成員に対し敬意をもって接し、協力・連携して本学の発展に努めます。
- (3) 学内諸規則を遵守するとともに、その運用に協力します。

2. 教育者として

- (1) 学生教育・学生指導全般において、学生の人格を尊重します。
- (2) 学生一人ひとりの学習の機会を保障し、自由で平等な学習環境の実現に努めます。
- (3) 教育活動に意欲的に取り組み、自己の教育能力の向上と教育内容・方法の改善に不断に努力します。
- (4) 教育活動に対する学生の評価・批判には真摯に耳を傾け、誠実に対応します。
- (5) 授業及び成績評価、単位認定、その他学生指導全般において公正を確保します。

3. 研究者として

- (1) 本学の優れた学問研究の伝統を踏まえて学術研究に精励し、その成果を公表します。
- (2) 研究成果を教育に反映させるよう努め、学問的批判に対しては誠実に対応します。
- (3) 他の研究者の学問的立場と知的財産権を尊重し、その評価に当たっては公正を旨とします。
- (4) 研究費及び教育研究設備・備品ならびに情報資産の有益かつ効果的使用に努め、適正にこれを用います。

4. 教員の社会的責任として

- (1) 大学が果たすべき社会的責務を自覚し、地域社会との協力・連携に努めます。
- (2) 学術文化の交流、人材の養成を通して、国際社会に貢献し、文明の課題に応えます。
- (3) 法令を遵守するとともに他者のプライバシーを尊重します。
- (4) 入学試験の公正・適切な実施に努めます。

（平成18年11月22日大学評議会）